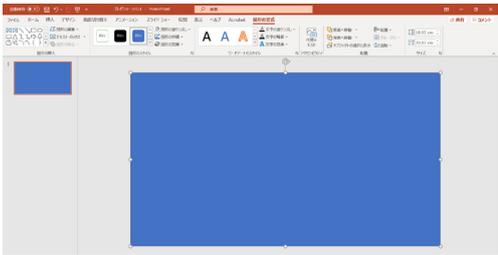
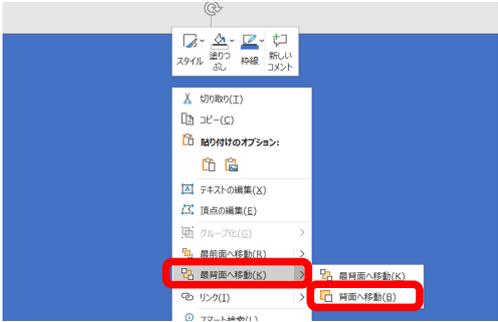
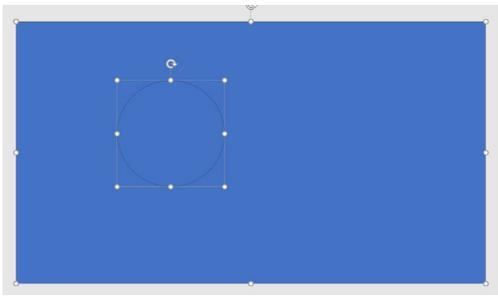
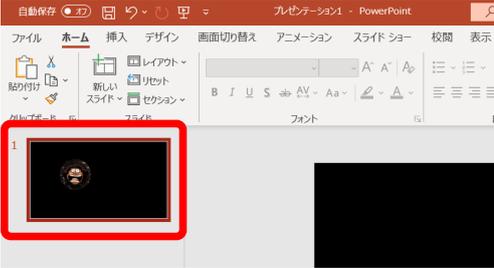
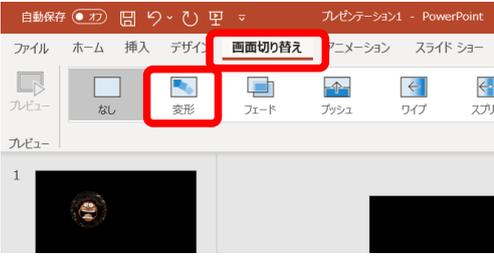
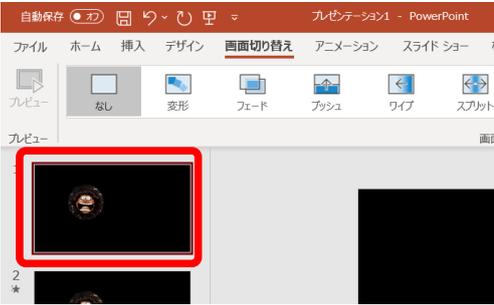
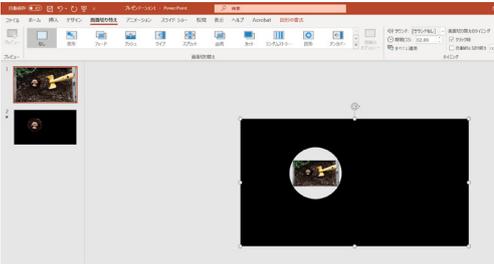
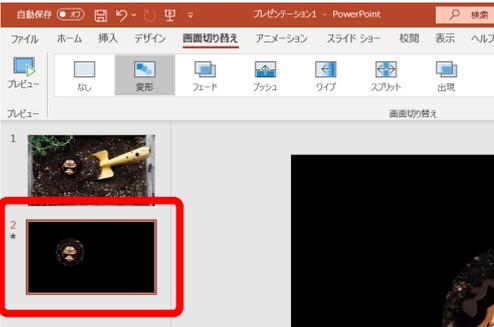


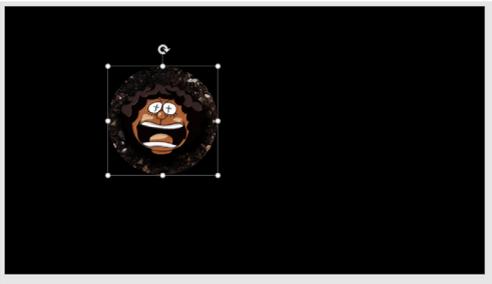
昭和オチ

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 2003 で書かれています

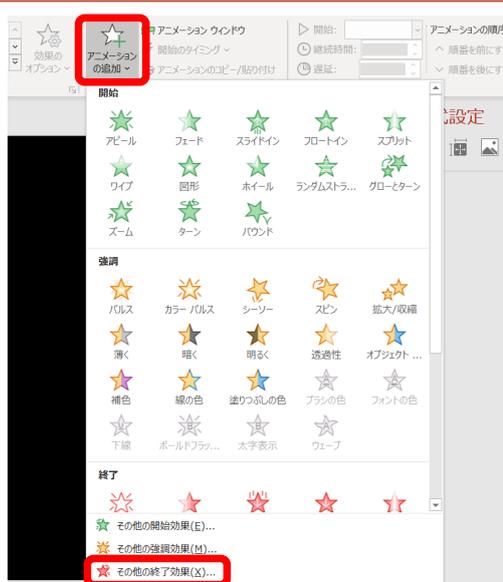
<p>1</p>		<p>画像を用意します。</p> <p>※ 1枚の画像にしてください。複数の画像や図形を組み合わせたものだと、手順 18 からの方法が使えなくなります。</p>
<p>2</p>		<p>「挿入」→「図形」→「楕円」。</p>
<p>3</p>		<p>オチで囲みたいところに、「Shift」キーを押しながら、正円を描画。</p>
<p>4</p>		<p>「図形の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。</p>
<p>5</p>		<p>サイズや位置を微調整。</p>

6		<p>「挿入」→「図形」→「正方形 / 長方形」。</p>
7		<p>スライドいっぱいには四角形を描きます。</p>
8		<p>右クリックし、「最背面へ移動」→「背面へ移動」。</p>
9		<p>円と四角形の両方を選択。</p>
10		<p>「図形の結合」→「型抜き / 合成」。</p>
11		<p>「図形の塗りつぶし」→「黒」。 「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>

12		画面左のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。
13		2枚目のスライドを「画面切り替え」 → 「変形」。
14		1枚目のスライドをクリック。
15		<p>図形の穴の部分に、スライド全てが入るぐらいまで、「Shift」キーを押しながらサイズを大きくして位置を調整。</p> <p>「Ctrl」 + マウスホイールで画面を縮小すると作業が楽です。</p>
16		「F5」キーでスライドショーを見てみましょう。クリックすると、画面の外から円が小さくなっていけばOKです。
17		2枚目のスライドをクリック。「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。

<p>18</p>		<p>3枚目のスライドの画像と穴あき図形を、「Shift」キーを押しながら、画像→図形の順に選択。</p> <p>※「図形の結合」をするとき、先に選択した方が優先されるためです。</p>
<p>19</p>		<p>「図形の書式」→「図形の結合」→「切り出し」。</p>
<p>20</p>		<p>3枚目のスライドを右クリックし、「背景の書式設定」。</p>
<p>21</p>		<p>画面右に「背景の書式設定」ウィンドウが開くので、「色」を「黒」。</p>
<p>22</p>		<p>3枚目のスライドの切り出した画像を選択。</p>

23



「アニメーション」→「アニメーションの追加」→「その他の終了効果」。

24



「サークル」で「OK」。

25



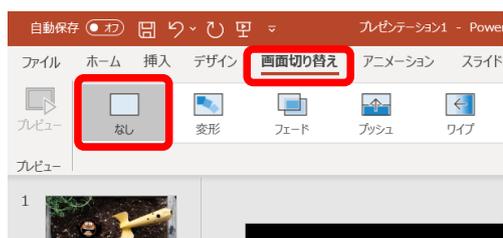
「効果のオプション」→「イン」。

26



「開始」「直前の動作と同時」。
「継続時間」「0.5」。

27



「画面切り替え」→「なし」。

「F5」キーでスライドショーを見てみましょう。
クリックすると、画面の外から円が小さくなり、もう一度クリックすると、円が消えて真っ黒になります。